

平成23年度第1回三重県後期高齢者医療広域連合運営協議会議事概要

開催日時：平成23年11月9日（水） 13：47～14：55

開催場所：三重地方自治労働文化センター4階 大会議室

出席者：〔委員〕 村本委員（会長）、乙部委員、森下委員、山田委員、田所委員、
渡邊（和久）委員、志田委員、渡邊（裕）委員、宮原委員、
豊島委員、田中委員、若尾委員

欠席 喜多委員、松本委員、安田委員、前田委員

〔広域連合〕 齋藤事務局長、大西会計管理者、人見参事兼事業課長、
谷川参事兼総務企画課長、上村事業課主幹、真置事業課主幹、
谷本総務企画課主幹、大西総務企画課主事、飯田総務企画課主事

傍聴者：0人

〔議事要旨〕

【協議事項】

（1）平成22年度後期高齢者医療事業概要について

（村本会長）

平成22年度後期高齢者医療事業概要について、事務局から説明をお願いしたい。

「協議資料1」により（人見参事兼事業課長）から説明。

（村本会長）

意見などあればお願いしたい。

（志田委員）

8頁の健康診査の説明では、平成22年度は、受診率が32.6パーセントで全国順位が4位、目標受診率が40パーセントとのことだが、1位、2位、3位はどこで、受診率はどれくらいの割合になっているか。

（事務局）

1位は東京都で50パーセントを超えている。全国で50パーセントを超えているのは東京のみとなっている。今、資料がないので2位以下はわからない。

(村本会長)

他にないか。

(村本会長)

9頁にある無医地区での健康保持増進事業については、非常に重要な事業だと思っている。年1回というところや、年2回、または3回のところもあるが、もう少し多く実施してほしいといった要望等があるのかないのか。また、そういった計画を立てることができないのか。

(事務局)

津市の太郎生地区については、非常に参加人数も多いが、熊野市の上川・西山地区、紀宝町の浅里地区だと遠隔地ということもあり、かなり時間を要してしまうので、それらの市町の保健師と協議をしながら実施をしている。太郎生地区については、様々な要望を伺いながら実施している。平成22年度については、地区の医療機関や診療所の先生にお願いをして、高齢者の健康管理といった内容で、2回程、講演をしてもらった。今年度については、保健師の健康相談とともに、1回目については、閉じこもりやうつ関係の内容で、相談も含めて講演をしてもらった。2回目は、歯の健康管理も重要なので、そのあたりの話をしてもらった。

熊野市の上川・西山地区、紀宝町の浅里地区については、距離が遠いこともあることから、広域連合から講師を派遣することもできず、申し訳ないが、健康管理を行っている近隣業者の指導員に依頼し、運動の指導をしてもらっている。回数を増やしたいところだが難しい状況にある。津市の太郎生地区については、なんとか3回行っている。

(村本会長)

他にないか。

(森下委員)

事業概要の表やグラフのまとめ方についてだが、20年度が右にきて、21、22年度が左に展開していく表があったり、また、その逆になっているものもある。次年度以降も続くことなので、きちっと見れば良いが、このあたりは統一した方が、見る方に誤解を与えないのではないのかと考える。内容については問題はない。

(村本会長)

そのあたりの修正をお願いします。

他に何かないか。

また、何かあれば、後で意見を聴くということで、内容については、これでよいか。

(2) 平成23年第2回広域連合議会定例会議案の概要について

(村本会長)

次に、平成23年第2回の議会定例会議案の概要について、事務局から説明をお願いしたい。

「協議資料2」により（谷川参事兼総務企画課長）から説明。

(村本会長)

今の事務局の説明について、何か意見や質問等があればお願いしたい。

(志田委員)

2頁の実質収支に関するところで、実質収支額が約15億1千万円の黒字と見てよいか。基金は3つあり、その合計は28億円位か。それらを合計して43億円位を持っているということによいか。

(村本会長)

説明をお願いしたい。

(事務局)

そうではなく、15億1千49万7千50円の方は、国、県等から負担金でもらい過ぎているものがあり、これらをすべて返還すると残り7億円弱位になる。基金について、臨時特例基金では低所得者に対する軽減措置等があり、この分を先にもらっており、制度が終了する頃には精算をするのでまったく使えない。使える金額がいくらかと言うと、17億円位は使えることになるが、保険料率は2年毎に変更することとなっており、これは、22年度の決算なので、残りがないと23年度の運営ができないことになる。つまり2年間、料率が同じなので、2年分を見越して保険料率を設定しているため、22年度は、多少、余剰金を出して、23年度の財源に充てることから、22年度は残ってくることになる。

(村本会長)

他に何かないか。

(村本会長)

ないということなので、3番目の第2次広域計画の案について、事務局から説明をお願いしたい。

(3) 第2次広域計画(案)について

「協議資料3」により(谷本総務企画課主幹)から説明。

(村本会長)

何か意見や質問はないか。

(村本会長)

8頁に書いてある期間についてだが、2期の計画は24年から28年の5年間で、もし、途中で新制度に変わったならば、そこでこの2期の計画に変更が入るといってらえ方でよいか。

(事務局)

はい。

(村本会長)

他に何かないか。

(山田委員)

2頁で広域計画(第2期)とあり、8頁には第2次広域計画という記載があるが、期間は同じなのか、どういう使い分けをしているのか。

(事務局)

同じ意味として使っている。

(村本会長)

どちらかにそろえても誤解がないと思うがどうか。

(事務局)

第2期ということで統一する。

(村本会長)

他に何かないか。

(村本会長)

2頁の(2)の三重県の高齢者医療を取り巻く現状と課題というところで、三重県では高齢者の人口が増えていくが、医療費はそれほど上昇していないというところを保ちつつ、75歳以上の人が安心していけるような方向で行きたいといったとらえ方でよいか。

(事務局)

言われたとおり、その方向で進めていきたいと思っている。

(村本会長)

何か意見、質問等はないか。

今回が1回目の協議会ということでメンバーも変わり、少し分かりにくいと思われることから、少し時間もあることなので、考えてもらいながら質問など受けたいと思うがどうか。

22年度の事業概要のところでも構わないし、質問等、振り返ってこのあたりが分かりにくいといったところがあれば、意見を出してもらいながら進めていきたいと思う。

協議事項としては済んでいるが、1番に戻ってもらっても結構なので、そのあたりの意見等があればお願いしたい。

【協議事項1 平成22年度後期高齢者医療事業概要について】

(山田委員)

資料の1に戻るが、1番最後のところの無医地区における健康保持増進事業についてだが、最後の浅里地区が、今、大変なことになっている。この写真にある会場は土砂で半分くらい埋まり、真っ先に災害ボランティアに100人単位で入ってもらい、現在は復旧できている。ただ、健康保持について、この地

区以外はようやく進んできているが、残念ながら浅里地区については、まだまだこういった事業ができないといった状況のままとなっている。先程の説明にもあったように年に1回きてもらえれば充分だが、こちらで、こういったことをやればよいといったことを文書で結構なので指導してもらえればありがたい。

現在、紀宝町内で実施している健康保持事業で、医師が本人を診ると、これは認知症に向かっているといった状況は分かるが、その方がどういう生活をしていたのか、今、こういった立場にあるのかということは、どの医師にも見えてこない。それをどうすればよいのかが問題となっており、多くの被災者の中でも、特に、後期高齢者の人を対象に行っているが、傾聴ボランティアや行政相談員を動員して、民生委員が全地区の人たちに声掛けをするということくらいしか今は思いつかない。とにかく声掛けをして孤立化を防ごうと、これは浅里地区だけではなく、全地域で実施しているが、それでもなおかつ本人の状況が悪くなった場合は、医者にかからざるを得ないが、私たち医療の知識がない者にとってはお手上げとなっている。今できることは、声掛けなど、できることをやっている。ただ、それ以上に、例えば、傾聴ボランティア、行政相談員や民生委員でもできること、病気になる前に何かできることがあれば、指導してもらえれば大変ありがたいと思っている。

(村本会長)

そういうところを、是非、計画の中に入れてもらうようお願いしたい。
他に何かないか。

【協議事項3 第2次広域計画(案)について】

(村本会長)

資料3の広域計画5頁のジェネリック医薬品の普及についてだが、この内容についてはいつも意見が出る。医師会ではちゃんとした薬を使っていきたいという考えをもっている。薬の効果が同じであるならば、このジェネリック医薬品を使いながら医療費を抑えていくような形にできないかという部分については、医師会から意見が出てくるのが想定される。

しかし、高齢者が増えてきているところで、予防的な内容も増やし、対応も考えながら医療費を抑えていき、なおかつ、保険料も抑える方向に向かうようもっていければよいというところもあるので、もし、何か意見等があればお願いしたい。もし、ないようであればこのあたりで終わることになるが。

【協議事項 1 平成 22 年度後期高齢者医療事業概要について】

(志田委員)

協議事項 1 の 8 頁の後期高齢者健康診査の 1 番上の表中に血糖検査があるが、この血糖検査というのは前にも議題となったかもわからないが、⑧の血糖検査が空腹時血糖またはHbA1Cになっている。現在、特定健診とか他の健診でもだいたい空腹時血糖とHbA1Cというふうになっている。またはというのは、今は古いというか両方やってもらいたいと思うので、費用のこと等があるとは思いますが、両方、実施していただくよう考えてほしい。

(村本会長)

少し検討してもらえるか。両方だとどれくらいの費用になるかなど。
他に何かないか。

【協議事項 3 第 2 次広域計画（案）について】

(渡邊和久委員)

先程、ジェネリックの話があったが、我々、薬剤師会もジェネリックに関しては、推進の方で一生懸命、頑張っているところだが、やはり、医師会の先生も心配しているように、若干ジェネリックでも少し気を付けて使ってもらう必要があるというところもある。確かに、効能、効果など、絶対的な効果は、先発医薬品と比べてほとんど変わりはないが、効くまでの時間や切れ味のなもの、使い勝手の部分で、若干、差異のあるものもある。特に、外用剤など、貼り薬や塗り薬に関しては記載の違いなどもあり、若干の違いは我々も感じている。一生懸命推奨はしているが、あくまで、患者の状態、医師の意向も見ながら少しずつジェネリックの方に推進していく形で、急激に増やすのはなかなか難しいのではないかと考えている。

(村本会長)

他に何かないか。

【協議事項 1 平成 22 年度後期高齢者医療事業概要について】

(事務局)

先程、浅里地区の関係の話が出ていたが、広域連合としても今年度は中止でしたが、先程いただいた意見等も取り入れて考えていきたいと思っている。台風 12 号により甚大な被害を受けられた方について、少しでもということで、現在のところ、紀宝町 39 件を含む全 106 件について、保険料の減免をさせ

てもらっている。加えて、40人程が大きな被害を受けられて生活が大変ということで、医療費の一部負担金の免除をしたところで、期間は3か月ということにさせてもらっている。今の話にもあったように、高齢者が大変な被害を受けると、精神的にもかなりまいってくることもあるので、そのあたりも含め医療機関に受診され、相談してもらおうよということの手続をしている。数が増えてきているが、少しでも助けになればと努力をしている。

(村本会長)

他に質問、意見がないようであれば、これで協議事項のところは終了としたと思うが、本日は、協議事項の1と3を行ったり来たりしているので、事務局で整理してもらおうようお願いする。

【その他】

(村本会長)

最後に事項書2のその他について、何か発言等があればお願いしたい。事務局の方から何か追加等はないか。

(事務局)

特にない。

(村本会長)

では、これをもって本日は終了する。